

徳島県社会福祉協議会 第四次活動推進計画

この計画は、社会福祉をめぐる様々な課題の解決に向けて取り組むための具体的な方策を明確にすることを目的に策定しました。

徳島県協ではこの計画策定において、次の4項目を基本方針としています。

- ・ 県民の参画・協働による地域福祉活動の推進
- ・ 生活困窮者等への個別支援
- ・ 災害時の福祉広域支援ネットワークの構築
- ・ 組織の基盤強化と社会的役割の発揮

今後、重点的に取り組むべき事業を明確にして県民が抱える様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて、市町村社会福祉協議会との協働事業の推進や行政、関係機関・団体等との連携を通じて、時代の要請に応えられる事業の展開に積極的に取り組んでいきます。

地域福祉の未来を描く

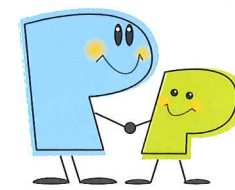
これまでの市町村社協の取り組みを掲載させていただきます。



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
 770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
 tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
 e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/



とくしま県民活動プラザ
 770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
 沖洲マリンターミナルビル1F
 tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345
 e-mail: info@plaza-tokushima.com
 http://www.plaza-tokushima.com
 http://www.tokuvc.jp



マスコットキャラクター プラザ

ひと27号 june.2014 CONTENTS

特集 NPO法人 徳島ミュージックユニオン
 徳島県社会福祉協議会 第四次活動推進計画

ひと みんないっしょに働ける社会にしたい
 徳島県肢体不自由児者父母の会連合会
 会長 圓井 美貴子さん

シリーズ・このひとから
 一宇しゃくなげ産直市 上家 洋子さん
 ボランティアコーディネーターとして
 大久保 伊知郎さん

連載 [福祉教育いろは塾] 福祉教育とは
 日本福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科
 准教授 野尻 紀恵さん

ハートリレー
 No.27 森本さんから新居さんへ

New face
 NPO法人らくえん 堀川 可奈子さん

徳島の街に、音楽を！

「徳島の街に、生音を奏でたい」という夢を形に変えるべく様々な活動を試みる徳島ミュージックユニオン。ジャンル垣根を取り払い、プロ・アマ問わず、活動を繰り広げています。NPO法人としては全国で唯一“blast”の公演を引き受けるなど、徳島の音楽・芸能文化発展にも貢献されています。

MUSIC UNION

特定非営利活動法人

徳島ミュージックユニオン



MUSIC UNION

徳島
NPO 法人 ミュージックユニオン

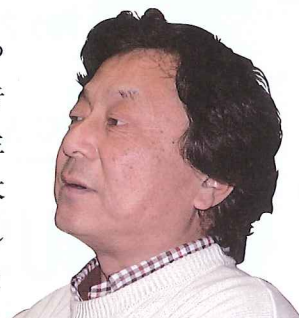
街に、音楽を！

理事長 林 郁夫さん

「街に、音楽を!!」、徳島ミュージックユニオンの合い言葉として、活動の源になっています。生音が奏でる空間を街のあちこちでつくりたいという思いを込めました。その言葉の通り、お花見ライブやファミリーバンドコンテストは屋外で生音を響かせています。

音楽イベントを仕掛けていきたいと思うキッカケは、「音楽のジャンルを超え、垣根を取り払い、音楽をやりたい」「終わったら、みんなでお酒を飲んで大宴会をしたい」という思いからです。

思いの結晶である一つひとつのイベントを通じて、多くの音楽関係者と出会うキッカケが生まれます。人とのつながりを大事にしていく中で、「協力なくして、活動は絶対にできない」と感じています。



「イベントを通じ、地域の人たちとふれ合うのは、活動の大切な活力です。その感謝を最大限に伝えることを常に心がけています」と笑顔で話す林さん。これからも多くの人に音楽の楽しさを伝え続けてくれると期待しています。



誰もが音楽を楽しめるイベントをつくりたい！

事務局長 田岡 批呂子さん

春恒例の野外イベント『お花見ライブ』は今年で8年目を迎えました。徳島で音楽に携わる人たちが、この日を目標にそれぞれのモチベーションを高め、毎年この『お花見ライブ』に参加してくれています。その為に、演奏者が発表できる場はとても大切だと感じています。

ユニオンでは、演奏者も運営スタッフもそれぞれが発揮できるスキルを形にしなが、努力を重ねてきています。「イベントに携わる運営側を含め、子どもから大人まで誰もが音楽を楽しめる場をつくりたい！」その思いを実現させるために、これからも色々なニーズをしっかりと見つけていきたいと思っています。



お客さんも運営側もみんな一緒に楽しもう！

副理事長 森 一生さん

今年の「お花見ライブ」は悪天候にもかかわらず、お客さんがたくさん来ていただきました。

屋外のイベントをしていると、天候に左右されるのが一番の苦勞になります。一方で、雨で濡れた椅子をスタッフ同士で拭いたり、臨機応変に対応する姿やその努力を見ることは、イベントを楽しむ一つなのかもしれないと感じています。

「お客さんも運営側も、みんなで音楽を楽しんでやろう！」という同じ思いを持つことが、自身のモチベーションに繋がるとお話していただきました。いろんな問題をみんなで解決していくことも楽しいと思う考え方は、とても大切なことだと感じました。



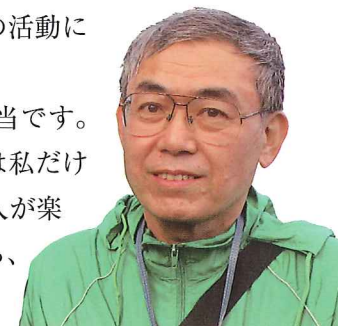
「活動していて、たくさんの難題にぶつかるけれどアーティスト達の素晴らしい演奏を聞いたら全ての苦勞を忘れてしまう」と話す田岡さん。誰よりもお花見ライブを楽しみ、思いを寄せている一人だと感じました。

街と音楽が結ばれる空間をイメージ

理事 天羽 英雄さん

徳島駅を出た時、街に音楽が流れていると楽しいですよね。水際公園という素晴らしいロケーションに音楽が加わると、より素敵な街になるでしょう。そんな思いを声に出していたら、林さんと巡り会えました。それまで一人でやっていた「中心市街地を勝手に応援し隊」の活動と、街に音楽をという方針が重なり、今の活動に至っています。

私は、会場と舞台設計の担当です。ユニオンの中で演奏しないのは私だけだと思いますが、来てくれる人が楽しめるようにイメージしながら、今回のデザインを決めました。



「今はまだ見えませんが、活動を続けていくことによって文化が生まれてくる。徳島の街が～音楽が流れる街～になると素敵ですね」と話す天羽さん。街と音楽が結ばれる空間をイメージし、その未来を待ちわびているように感じました。



音楽を通して家族の絆を深めてほしい

理事 黒崎 雅夫さん

“家族と音楽”をキーワードに、ファミリーバンドコンテストを運営しています。

『音楽を通し、家族の絆を強める。家族の魅力を発信する。イベントを通して、街と徳島を元気にする』この、3つのコンセプトはイベントの大切な思いです。ファミリーバンドコンテストという斬新な企画に、音楽を通じて、“家族”について再確認してもらいたいというメッセージを込めています。

参加条件は、メンバーに親子がいればいだけ。家族で演奏して、楽しんでいる姿を見るのが一番嬉しいですね。



「演奏を通して、家族の絆が深まる」この姿を確認できるのは、今も変わらず3つのコンセプトを守りながら、音楽を楽しみ、イベントを続けているからだと感じました。



継続し続けること

理事 飯田 緑さん



活動に参加するきっかけは「街に音楽を！」という林理事長の熱い思いに賛同したことです。

「徳島ミュージックユニオン」の活動を続けていく上では、『イベントを継続させること』が一つのポイントだと考えています。私は「音楽の泉」

コンサートを企画担当しながら演奏者としても活動しています。

コンサートは毎回盛況ですが、若い演奏家が多いので、結婚、出産などで演奏活動の中断を余儀なくされるのが現状です。少しでも早い復帰をする為に今後もサポートできればと考えています。

一旦離れた演奏者から復帰を望む声が多いため、活動を続けるためにサポートをしたいという熱い気持ちが伝わってきました。



MUSIC UNION イベントのご案内

ファミリーバンドコンテスト

第5回 とくしまファミリーバンドコンテスト2014「絆」

場所 / 徳島市西公園ステージ
内容 / 秋の日のひと時を
音楽を通してご家族で
楽しみませんか。



音楽の泉

親しみのある曲を通して、クラシック音楽をたくさんの人に楽しんでいただきたいと、コンサートを開催しています。出演者も、みなさんに素敵な音楽を届けようとして取り組んでいます。



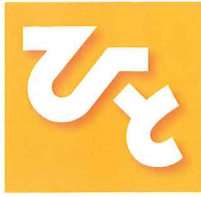
お花見ライブ 徳島にも心地よい～春の風～を、感じる頃。

春と言えば…毎年恒例のお花見ライブの季節です。桜の花びらが舞う鶯の門広場で…たくさんのお客さまをお待ちしております。



NPO 法人
徳島ミュージックユニオン
理事長 林 郁夫

〒770-0902 徳島県徳島市西新町1丁目25
TEL: 090-3786-5088 (林)
Web: <http://tokushima-music-union.com/>



みんないっしょに働ける社会にしたい

～社会の中での存在を位置付けていくために～

圓井さんの活動は、にんじんの会の会長に就任してから本格化。障がいのある子どもたちの家族と一緒にできることを実践してきました。

毎月活動している音楽サークル「ミックスジュース」は平成8年に発足。助成金で楽器を揃えましたが、自分で楽器を持って奏でるのが難しい子もいます。子どもたちは主体的に演奏を楽しめているのだろうか?という試行錯誤も重ね、コミュニケーションを補助する福祉機器も買って演奏方法を工夫し、みんなができることを生かして音楽を楽しめるようにしました。

社会参加の機会をと、地域の文化祭や県内のフェスティバルへの出演も積極的に進めています。中学生との交流



徳島県肢体不自由児者父母の会連合会

会長 **圓井 美貴子さん**

同徳島支部 にんじんの会 音楽サークル ミックスジュース 会長
UDActプロジェクト 代表
とくしま福祉機器展 実行委員会 会員
日本リハビリテーション工学協会 会員 他
連絡先：080-3854-6125 Email：marui@ma.pikara.ne.jp

コンサート「みんなのWaコンサート」の開催は今年3回目。心温まるコンサートは多くの方々の心にバリアフリーの風を届けています。平成10年に行った、みんなが利用しやすい店の情報をまとめた「住みよい街角ウォーク」では、ユニバーサルデザインの知識を得るため、建築や都市デザインなどの専門家の方々とも連携を深める事となりました。

UDAct プロジェクトでは、若者の障がい理解を進めるために、大学生をサポートに、障がいのある仲間と中高生との交流活動を盛り込んだボランティア講座を実施しています。昨年は、歩き遍路を通して心通わせ合うボランティア講座を開きました。

さらに今年の4月、日本リハビリテーション工学協会の特別支援教育SIGに所属している圓井さんは、福島県で行われた復興支援リハビリテーション工学講習会の講師として、重度心身障がいの娘の陽子さんと陽子さんの友人とともに「自然と心に滑り込む障がい理解の進め方、広げ方」のお話をしてきました。こうした、工学、建築、福祉、医療、教育など様々な分野への関心と県内外の人との繋がりから、「とくしま福祉機器展」でも陽子さんと多様な情報発信をしています。

このように様々な活動を続ける圓井さんですが、まだまだ自分の“思い”には到達していないと感じているそうです。「企業との連携」はこれからの課題。障がいのある子どもたちが一般就労にもっと入っていけないか?個々の持つ可能性をあきらめず一緒に過ごす意義を伝えて、そのハードルを取り払っていきたいという思いを強く語ってくれました。

「儲けるのは得意でないけれど(笑)、ボランティアでしてきたことを企業等に売り込み、事業につなげていけないか?社会の中に障がいのある子どもたちの存在をもっとしっかりと位置付けたい。新しい視点で仕事をとらえ、どの子どもも社会貢献でき、働いている実感を持てるように」。

いつもパワフルで、まわりを元気にする圓井さん。昨年6月、県内7つの障がいのある子どもを持つ親の会が集まって発足した、徳島県肢体不自由児者父母の会連合会の会長に就任されました。これからもたくさんの協力を得て、“思い”を形に変えるための活動を続けます。

地域の宝で地域をひとつに

貞之丞だんご～一字ならではの手作りお菓子を～

一字しゃくなげ産直市 代表 **上家 洋子**

私たちの地元、一字の宝「貞之丞だんご」は、よもぎの鮮やかな緑が美しく、一口食べると、よもぎの香りが口の中にひろがります。合成着色料などを使わない自然の味と、三温糖を使用した甘さをひかえた粒あんで、昔ながらの手法でひとつひとつ丹念に作り上げています。

材料は地元産にこだわり、よもぎは耕作放棄地を借りて栽培しています。借り受けた畑は何年も耕作していなかったため、重機で木の根を掘り起こし、管理機で耕し、畝立てをして播種にいたりしました。4月中旬から5月にかけて、会員家族総

出で摘み、加工所で選別し、丁寧に水洗い。茹でた後も何度も水洗いし、1年分を冷凍庫で保管しています。あんになる小豆も、地元の高齢のみなさんが栽培しています。これも、1年分約500kgを冷蔵庫で保管しています。「貞之丞だんご」は、地域のみなさんが試行錯誤を繰り返し、力を合わせて完成させた手作りお菓子なのです。

これらの活動を通して、地域の農地が復活し、販売により現金収入を得ることで生産意欲も高まり、地域内の高齢者の活動も活発になってきています。



一字しゃくなげ産直市
開催日時：日曜、祝日 10:00～17:00
場所：美馬郡つぎ町一字赤松6-13
一字生活改善グループの会員と地域の住民による手づくりの産直市。貞之丞だんごをはじめ、手づくり味噌や新鮮野菜、こんにゃく、田楽などの特産品を販売している。

ボランティアコーディネーターとして

石井町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター 主事 **大久保 伊知郎**

昨年の4月にボランティアコーディネーターとなり、1年が過ぎました。その間、石井町ボランティア連絡協議会をはじめとする各種団体や住民の方々、諸先輩が働きあけてこられた、石井町みらいフェスタや石井町ボランティアフェスティバル、また、学校での福祉ボランティア体験学習支援や地域行事等に携わってきました。

最初は、人と関わることの難しさを感じることもありましたが、ボランティアに関わる多くの人と出会い、温かい言葉がけや気配りをして下さったり、様々な形で支援してもらったりと、コミュニケーションを重ねるごとにボランティアが生み出す『絆』を強く感じるようになりました。

ネットで知り合い、ネットだけで関わり合うことも多くなり、人と人とのつながりが薄れつつある現在、ボランティアのあるところには、人と人をつなぐ“架け橋”があると思います。そして、「いつでも、どこでも、だれでも」参加できるボランティア活動は、「きっかけづくり

の場・機会」が重要になってくると考えています。

今後、ボランティアコーディネーターとして常に住民に寄り添う姿勢を忘れず、日々の関わりを大切にしながら、活動につながるための「きっかけづくりの場」を創意工夫し、さらにボランティアの輪を広げ「共に支えあい安心して暮らせる町づくり」のために、精進していきたいと思います。



石井町藍畑小学校 点字体験授業の様子



石井町ボランティアフェスティバル 子ども文化祭の様子

プラザ主催 NPO・ボランティア活動自立支援プログラム
全11講座(現地研修含む)

7月以降の自立支援プログラム講座予定

- 8月23日(土)・・・障がい者の自立支援の場～しいたけ栽培ハウスで体験
(現地研修) NPO法人きのこハウス
- 9月14日(日)・・・子育て支援の現場～みつごちゃんDay 体験
(現地研修) NPO法人子育て支援ネットワークとくしま
- 10月18日(土)・・・まちづくりの現場～新町川遊覧船と清掃活動体験
(現地研修) NPO法人新町川を守る会
- 11月1日(土)・・・地域おこしの現場～神山アーティストインレジデンスツアー
(現地研修) NPO法人グリーンバレー
- 11月9日(日)・・・助成金獲得・活用講座
- 12月6日(土)・・・ソーシャルネットワークサービス活用講座
- 1月18日(日)・・・プレゼンテーション講座～パワーポイントを使った効果的なプレゼンテーション
- 2月15日(日)・・・労務講座～採用時・雇用期間中・退職時における労務マネジメント
(修了式)



各講座ごとの募集もしていますので、ふるってご応募下さい!!また、NPO・ボランティア活動自立支援プログラムについては空き状況に応じ受け付けしますのでお気軽にお問合せ下さい。

◆年間プログラム、各講座詳細についてのお問い合わせ◆

とくしま県民活動プラザ TEL: 088-664-8211【担当 吉野・石井】
E-mail: info@plaza-tokushima.com

イベントガイド

子どもが生き生きとはたらくまち「ぷらざタウン」

「ぷらざタウン」とは、小学3～6年生の子どもたちが徳島県内のNPOやボランティア団体の仕事を教わり体験する「まち」です。子どもたちは生き生きとはたらくことにより、社会貢献活動の内容や重要性を学びます。ぜひ遊びにきてください。

開催日時:平成26年8月10日(日)9:30～16:40
場所: 沖洲マリナービル及びその周辺
内容: NPOボランティア体験

ステージ発表(マリンホール) } それぞれ午前・午後実施予定です。
製品販売・昼食

主催: とくしま県民活動プラザ、社会福祉法人徳島県社会福祉協議会、徳島市市民活力開発センター



NPOやボランティア活動をおためし体験!

参加してみたいけれど、なかなか参加するきっかけがない方にオススメです。県内で活躍しているNPOやボランティア団体の活動を体感できます。もうすぐ募集開始!

- ・「2014吉野川フェスティバルゴミゼロアクション」スタッフ 7月25日～27日実施
- ・「子どもが生き生きとはたらくまち ぷらざタウン」運営スタッフ 8月10日実施
- ・「ゴミゼロ阿波踊り大作戦2014」スタッフ 8月12日～15日実施

ボランティア情報をメール配信!

登録した方に、プラザからおためし体験などのボランティア情報をメールで配信します。
※詳細については、とくしま県民活動プラザのホームページをご覧ください。
<http://www.plaza-tokushima.com>



平成26年度 災害ボランティアコーディネーター養成研修会

内容: いざという時に、災害ボランティアセンターの中核を担うコーディネーターを養成することを目的に開催します。

日時: 平成26年9月5日(金)～7日(日)
10:30～16:00
(最終日のみ10:00始まり)

場所: 徳島県立防災センター

板野郡北島町鯛浜字大西165 TEL: 088-683-2100

参加対象: 災害時にコーディネーターとして中核を担っていただける方

※既に、受講されている方は参加対象になりません。なお、定員(30名)になりしだいメッセさせていただきますので予めご了承ください。

お問い合わせ: とくしまボランティア推進センター TEL: 088-664-8211

とくボラサミット～3年後の徳島をみんなで考えよう～

内容: 3年後の徳島をよりよくするため、ボランティア活動を通じて繋がり、夢の実現に向かって進んでいくことを目的に開催します。

日時: 平成26年8月3日(日) 13:00～16:00
場所: 沖洲マリナービル2階 マリンホール
お問い合わせ: とくしまボランティア推進センター内

実行委員会事務局 TEL: 088-664-8211



No.27 森本さんから新居さんへ



NPO法人 新町川を守る会 副理事長
にいたし
新居 直さん

黒子に徹する

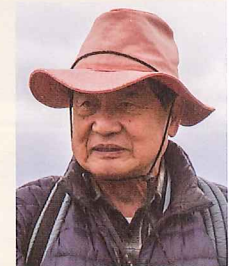
新居さんは建設コンサルタントに土木技術者として勤務しながら、その人脈と技術力を活かして新町川を守る会発展の黒子に徹して活動してきている。彼の行動力は筆舌に尽くし難く、それこそ飛び回っているという感じでしょうか。

勤務中は四国4県を股にかけ、公務員との付き合いも深く、私事ではひょうたん島クルーズ船の運航や毎月金曜日の夜に開催されている水際コンサートの運営などを行い、ボランティア団体やNPO法人からの信頼も厚く、私も助けられた思い出が数多くある。

豪傑という言葉が似合う人物で、ビールはどれだけ呑めるのか今もってわからず、最近大きな交通事故に遭った時も職場の同僚から「相手の車は大丈夫だったか。」とのエピソードも聞いている。

定年後はますます元気一杯で新町川を守る会に無くてはならない人材として東奔西走ご活躍されている。

文・森本康滋(代筆: エコロジー森を創る会事務局林太郎)



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成26年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

補償金額(保険金額)

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	100,000円 50,000円
賠償責任	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	プラン	300円	450円
	天災タイプ*	460円	690円

*天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこぼした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

● お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社
TEL: 03(3593)6245

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。



NPO法人 らくえん

ほりかわ かなこ
理事長 堀川 可奈子さん



■ 設立への想い

「らくえん」の理事長堀川さんは、障がいがある子どもの母親として、子どもの就職活動の際、障がいがある人の働く場所がないことを痛感していました。そんな中、堀川さんのご長男、堀川真也さんは絵の才能を活かし、自閉症の絵画作家として活動をはじめました。同時に堀川さん自身は、手探りの中NPOの勉強をし、障がい者が仕事を持つことができ、様々な能力を見つけて伸ばす場所が必要という想いのもと「NPO法人らくえん」を立ち上げました。

■ 現在の主な活動とこれからのビジョン

法人名「らくえん」を知ってもらうため、息子さんの絵画作家としての活動をサポートする中、同じ境遇を持つ母親から相談をうけるようになりました。堀川さん自身が以前から感じていた、子どもを支える親が幸せな気持ちで子どもを支えないといけないという思いから、支える側の心のケアを目的とする「親の心・子の心 みんなで癒そう」をスタートし、月に1回、障がい者交流プラザで行っています。その他、絵画展も実施する予定。そして新たな試みとして、障がい者の婚活パーティーを検討中。

「今後の夢は大きく・・・ギャラリーや作業所があって、そこで展示会、デビュー、作品販売、病院も入って、老後は障がい者がヘルパーとして働ける。そんな総合的な場所を息子が描くビルで創ることが出来たら・・・」と語ってくれました。

NPO法人 らくえん

設立年月日・法人格取得年月日/2013年6月14日
〒771-1320 徳島県板野郡上板町神宅字 31-15
TEL.FAX: 088-694-7278
<http://blog.canpan.info/nporakuen55/>

編集後記

広報誌の取材を通してお話を聞かせていただく度に、みなさんの行動力には驚かされます。現状に満足せず、常に新しいアイデアを考え活動の幅を広げていく姿勢、見習いたいと思っています。最近、あるNPO法人の方から「バケツ稲づくりセット」をいただき、プラザで育てることにしました。順調にいけば9月頃には収穫できる予定です。プラザにご来館の際は、少し立ち止まって稲の成長を見守っていただければと思います。(勝浦)

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

4つの機能で応援

1.情報収集・提供
団体のチラシや会報、活動がわかる情報を広く発信。また、企業・行政の助成金・各種研修会などの情報や関連図書・ビデオも収集しています。(ホームページ、広報誌、図書コーナー、団体情報、各種助成情報)

2.活動・交流の場
グループでの会議や活動のPRに必要なチラシやポスターなどの作成のため設備を整えています。(ミーティングコーナー、会議室、パソコン、コピー機、作業室)

3.相談・支援
ボランティア・NPOに関する質問・ご相談にお応えします。

4.人材育成・研修
団体が力をつけるための研修会やイベントを実施します。(各種講座、NPOフォーラム、NPO・ボランティアフェア)

●プラザ開館時間
開館時間: 10:00~18:00
【研修室利用時間】
火曜日~土曜日: 10:00~21:00
日・祝日: 10:00~18:00
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●
JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!
一般社団法人 徳島県医師会
会長 川島 周
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLE NUP 吉野川をきれいに!
参加団体、募集中。
吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
徳島県県民サービスセンター内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2822
E-mail office@yoshinogawa.org
<http://www.yoshinogawa.org/>

ありがとうございます
【預託】
●とくしま食育推進研究会様より、神山町養護老人ホーム寿泉園へ高齢者の口腔ケア・食育指導のご提供
●徳島県調理師共栄会様より、阿波老人ホーム御所園へ和食料理のご提供
●ホテルクレメント徳島様より、県内老人福祉施設利用者をピアガーデンへご招待

【連載】福祉教育 いろは塾



福祉教育とは

日本福祉大学
社会福祉学部 社会福祉学科
准教授 野尻 紀恵

「福祉教育とは」を考えるうえで、まずは「教育」とは何か、何であるのかをとらえてみましょう。教育思想の源流をたどれば、ギリシアの哲学者に至ります。アリストテレスは、国民の教育の基本的なあり方を論じています。また、近代教育思想の祖といわれ、「子どもの発見者」と呼ばれている啓蒙思想家ルソーは、「不幸は教育の力で克服できる」と述べました。その後、多くの教育思想家が「教育」について論じていますが、なかでもアメリカの哲学者デューイは、「学校と社会」や「経験と教育」等に彼の教育思想を多く論じています。その中心思想は経験主義に集約されます。デューイの教育思想は、福祉

教育を論じる上でも大変重要な思想であると言われている。これらの教育思想からうかがえるのは、「教育」とは、人(子どもも大人も)が自分自身の人生をどのように生きるべきであるのか、という課題に大きくかかわるものだということです。教育によって人はその社会で生きていくために必要な知識や技術等を身につけます。一方、教育の内容や方法といった制度、政策は、その時代や国家の特性等による社会や人間のあり方、必要とされる知識や技術の質・量に影響を受けます。

さて、「福祉」とは何かを改めて考えておきましょう。現代の「福祉」は、ひらがな「ふくし」で表現するとわかりやすく考えることができます。つまり「ふだんのくらしのしあわせ」が「ふくし」なのです。弱者救済の狭義の「福祉」ではなく、誰もが対象であり、誰もが幸せであることが保障されていること、それが「ふくし」なのです。一方、「ふくし」を英語にすると「well-being」と表現されるようになっています。これは、「わたし」自身が「よく存在する」「自己実現し、よりよく生きていく存在」だということです。

このように「教育」と「ふくし」を改めて見比べてみると、「福祉教育」の意義がクローズアップされてきます。人は社会的動物ですから、自分がよりよく生きるためには、他者との豊かな関係性が必要となります。だからこそ他者の幸せを考えることも、自分の幸せに深く関わってくるのです。つまり、「福祉教育」は誰もが幸せになる生き方や世の中のあり方について、様々な角度から人が相互に関わり、そして考えていく活動だと言えます。



これからも、いつまでも
頼りがいのある銀行として、
地域のみなさまとともに歩んでまいります。
みなさまの「にこころ」のメインバンクへ
阿波銀行
<http://www.awabank.co.jp/>

環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。
ISO14001認証取得
(登録範囲は本店)
徳島銀行
<http://www.tokugin.jp>

基本方針 1 県民の参画・協働による地域福祉活動の推進

地域を取り巻く福祉ニーズに対応するためには、福祉人材の確保と養成が必要です。

県社協ではこれまで、無料職業紹介事業を通じた福祉人材の確保や幅広いボランティア活動への支援を行ってきました。今年度より第四次活動推進計画の基本方針を踏まえ、地域住民や各市町村社協、福祉関係者等と連携を図り、県民が主体的に地域の福祉活動等に関わることが出来る地域づくりを推進します。

具体的には、全各市町村社協での地域福祉活動計画の策定に向けた、市町村行政へのアプローチや、地域におけるボランティア活動の実態調査や担い手の養成、福祉人材の安定的な確保に向けた課題の分析や効果的な取り組みを進めます。

また、平成27年度に本格施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」を見据え、保育人材に特化した就職支援事業や市町村社協・教育機関等と連携し、学生を対象に福祉介護体験学習事業を推進するなど、将来的な福祉人材の確保にも取り組んでいきます。

徳島県社会福祉協議会 第四次活動推進計画

今回の特集では、基本方針と基本目的を新規事業と事業展開を踏まえてご紹介します。

理念

徳島県民一人ひとりが、お互いに支え合いながら身近な地域でそのひとらしく、安心して生き生きと暮らせる福祉社会の実現を目指して徳島県社協の機能強化と役割の発揮に努めます。



基本方針 3 災害時の福祉広域支援 ネットワークの構築

県内で大規模災害が発生し、災害ボランティア活動を支援する必要があると判断された場合は、災害時のボランティア活動を支援する総合窓口として、速やかに県災害ボランティアセンターを設置し、運営します。

このセンターは、行政や市町村災害ボランティアセンター、関係機関等から情報収集を行い、活動を支援するために必要な情報を発信します。

また、被災地市町村災害ボランティアセンターの設置状況や活動体制を速やかに把握し、必要な支援や連絡調整を行います。

そのためには、平常時からの取り組みが重要なため、必要な知識の習得やボランティア意識の向上を図るための普及啓発を行います。関係機関との連絡会を設置し交流・連携に努めています。

なお、災害時の県・市町村災害ボランティアセンターの設置・運営が迅速かつ円滑に機能できるように、災害発生を想定した模擬訓練を積極的に実施し、職員の対応力の強化を進めていきます。



NPO・ボランティア等災害時対応向上事業



海陽町穴喰地区避難所設営訓練



とくしま防災フェスタ 2013



福祉の職場体験



福祉就職ガイダンス



吉野川市社協地域福祉活動計画策定委員会



美馬市社協地域のマップづくり

基本方針 2 生活困窮者等への個別支援

経済的な問題のみならず、精神的な問題や家族の問題、健康上の問題など、複合的な問題を抱える方々(生活困窮者等)の個別支援が身近な地域で求められています。

社協はこれまで、低所得者世帯等への「生活福祉資金貸付事業」や判断能力が不十分な方々が適切な福祉サービスの利用援助や金銭管理等を必要とする場合の「日常生活自立支援事業」等、利用者の自立支援に関する相談事業や生活支援活動を実施してきました。

県社協では第四次活動推進計画の基本目標を踏まえ、地域住民や各市町村社協、民生委員・児童委員などの福祉関係者・団体等とより一層の連携を図ることにより、「あらゆる生活課題に対応した相談・支援体制」早期発見の仕組みづくり等、県域および市町村域における生活困窮者の自立支援に向けた事業推進の強化に取り組めます。

具体的には、関係機関・団体等とのネットワークの推進や人材育成の強化を図り、新たな生活福祉課題に対応する相談支援体制の構築や県権利擁護支援センター(仮称)の創設に取り組んでいきます。

基本方針 4 組織の基盤強化と社会的役割の発揮

平成26年より3カ年事業として「みんなですすめる地域の福祉」助成事業を実施しています。

この事業は、地域に根ざした福祉に関する取り組みや大規模災害時に備えるための活動などを行っている団体を助成することで、地域福祉の振興を図ることを目的として実施しており、この助成金には皆様からの寄付金等が活用されています。

今年度はボランティア団体やNPO法人、市町村社協等の23団体に助成を行い、大規模災害時に備える活動から地域で活動するボランティアの養成、福祉に関するイベントなどの様々な活動を支援していきます。

なお、助成先団体の詳細な取り組みについては、今後、県社協のHPや広報誌等で、地域にある様々な福祉課題の解決に向けた取り組みを皆様へ発信していきます。

この他、県民の様々な福祉ニーズにこたえるべく、職員の共通認識の醸成と資質向上や関係機関・団体とともに地域福祉を推進するため、積極的に取り組んでいきます。



「徳島県社協の未来を描く」第四次活動推進計画は徳島県社協ホームページからダウンロードできます。

<http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/>